# 情報通信審議会 情報通信技術分科会

## 電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第 17 回)

## 議事要旨

1 開催日時:令和6年9月4日(水) 13:00~14:00

2 開催場所: Web 会議開催(Cisco Webex)

3 出席者(敬称略)

【構成員】秋山主任(NTT-AT)、堀主任代理(SONY)、赤澤構成員(パナソニック)、雨宮構成員(VCCI)、 伊藤構成員(NHK)、長部構成員(VCCI)、加藤構成員(REEA)、川脇構成員(JBMIA)、塩山構成員 (TBS ラジオ)、千代島構成員(JEITA)、長倉構成員(JEITA)、縄田構成員(TELEC)、乗本構 成員(KEC)、東山構成員(ドコモ)、星野構成員(CIAJ)、牧本構成員(JQA)、村上構成員(JET)

【関係者】久保田関係者(TELEC)、島先関係者(VCCI)

【事務局】総務省:今泉電波監視官、郷藤電磁障害係長、内田官(記)

### 4 議事概要

(1) CISPR I 小委員会 MT 等 国際会議審議結果

MT7の審議結果について、千代島構成員より、資料 17-1-1 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任 : 資料 17-1-1 の審議項目 3.2 について、WPT に関して許容値を満足していないい

くつかの EUT があると記載があるが、許容値を満足していないのは基本波の高

調波か、それ以外か。

千代島構成員: 20MHz 付近で許容値を満足しない EUT があるという報告だった。WPT の基本周

波数は 150kHz や 400kHz であるため、高調波ではない。

次に、MT8の審議結果について、星野構成員より、資料 17-1-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

秋山主任:審議項目 4.1 について、CDV を発行するというところで、新しい CDV が可決さ

れるまでに障壁になりそうなものはあるか。

星野構成員 : そもそもスペイン会議は、3rd CDV の承認を目的として開催しているところも

あるため、3rd CDV に関しては、スペイン会議に参加した各国が賛成票を投じると想定している。スペイン会議に参加せず、反対票を投じた国もあるため、

それらの国の動向は注視する。

秋山主任: MT8 の会議に出席しているメンバーとしては合意の方向に向かっているが、参

加していない国のコメントなどに注意を払う必要があると理解した。日本に求

められている伝導イミュニティの電圧に関する TR の発行は必須か。

星野構成員 : 必須である。IEC 61000-4-6 Figure 10 の 3V-1V の電圧変化が基本規格と異な

るレベルなので、その変化の正当性を示す TR として発行する。

秋山主任: TR に書かれている正当性の中身は議論になっておらず、規格文書として出すこ

とが求められているか。

星野構成員 : 雨宮構成員が以前 MT8 ミラノ会議に提出した内容をもとに TR を作ってほしい

という要望だったので、内容については周知されている。

雨宮構成員 : 今の話は香港会議のときに実験結果をまとめたレポートである。TR 発行のため

の作業は現時点ではどうなっているか。

堀主任代理: MT7 及び MT8 では周知されているが、DTR の前に CD か DC でコメントを求めた

後に投票となるだろう。限度値の変化の部分について正当性を文書として残すという目的であれば CISPR 32 の CD 文書内に Informative として入っているため、CISPR 35 の 3rd CDV の Annex に Informative として TR の代わりに掲載し

てもいいのではないかと意見したがまだ返答はない。

### (2) CISPR I 小委員会 総会 対処方針(案)について

秋山主任より、資料 17-2 に基づき説明が行われた。特に質疑応答はなかった。

#### (3) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

秋山主任より、資料 17-3-1 及び資料 17-3-2 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

川脇構成員 : 資料 17-3-1 について、審議状況にある無線機能付きマルチメディア機器の試

験法について背景と課題に書かかれていない。

秋山主任:背景と課題の文章を修正する。

#### (4) CISPR I 小委員会 参加者(案)について

秋山主任より資料 17-4 に基づき説明が行われ、特段の異議なく承認された。特に質疑応答は無かった。

### (5) その他

資料 17-3-1、資料 17-3-2 及び資料 17-4 を、9 月 17 日(火)に開催される電波利用環境委員会(第 60 回)で報告する。

次回の作業班については、事務局より別途連絡する。

以上